アンバサダー
香取慎吾さん



就任コメント

美術展のアンバサダーを務めるのは今回が初めてですが、『いまを生きる歓び』という、誰もが共感できる、あたたかく愛おしいテーマにとても惹かれました。

アートが好きな僕としては、オルセー美術館の素晴らしい作品たちに出会えることに、今からとてもワクワクしています。

今はスマホひとつで、さまざまなものを楽しめる時代ですが、だからこそ、本物の作品を目の前にして感じるものがあると思います。

ゴッホの《星月夜》、ミレーの《落穂拾い》をはじめとする名作に出会える特別な時間を、ぜひ皆さんと一緒に楽しみたいと思います。

音声ガイド

ナビゲーター
有働由美子さん（アナウンサー）



コメント

美術好きの方はもちろん、普段あまり絵を見ない方にこそおすすめしたい展覧会です。「いまを生きる歓び」というテーマを、作品と、そして音声ガイドを通して感じていただければ、会場を出る頃にはなんだかきっと、少し前向きな気持ちになっているはず。ぜひ会場で、観て、聴いて、楽しんでください。

会場レンタル版
1台750円（税込）

アプリ配信版（iOS/Android）
配信価格800円（税込）※配信期間限定

アプリダウンロードはこちら

文化庁
本展は、政府による美術品補償制度の適用を受けています。

Ticket チケット情報

観覧料（税込）

一般	2,400円
大学・専門学校生	1,300円
65歳以上	1,600円

＊18歳以下、高校生以下無料。＊身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者（1名まで）は無料。＊18歳以下、高校生、大学・専門学校生、65歳以上の方、各種お手帳をお持ちの方は、いずれも証明できるものをご提示ください。＊12月8日（火）～18日（金）の平日は、大学・専門学校生は無料。

グッズ

本展限定のスペシャルグッズを多数ご用意！
※価格はいずれも税込 ※各種デザイン・価格は変更となる可能性があります
※ご来場のタイミングにより、在庫状況は異なります



BRIGITTE TANAKA
バッグ（スーラ《サーカス（下絵）》柄）11,000円



てらおかなつみデザイン
Tシャツ
4,400円



青山デカーボ
ラムレーズンショコラクランチ（オリジナル缶付き）
2,200円



BEAMS DESIGN
ロングスリーブTシャツ（ロートレック）
7,920円



BRIGITTE TANAKA
バッグ（ドガ《ル・ペルティエ通りのオペラ座の稽古場》柄）11,000円

わん！にゃん！ステッカープレゼント

2027年1月・2月にご来場のうえ、展覧会特設ショップにて3,000円（税込）以上お買い上げの方に、てらおかなつみデザインのオリジナルステッカーをプレゼント。
※各月とも数量限定（なくなり次第終了）※企画内容は予告なく変更または中止となる場合があります。※最新情報は展覧会公式サイトをご確認ください。



1月…わんステッカー



2月…にゃんステッカー

展覧会公式サイト　https://art.nikkei.com/orsay2627/

展覧会公式X・Instagram　@orsay2026_27

お問い合わせ　050-5541-8600（ハローダイヤル）

展覧会公式サイト

Exhibition overview

Period: November 14 (Sat.), 2026 – March 28 (Sun.), 2027

Closed: Mondays (Except November 23, 2026, January 4 and 11, and March 22, 2027), November 24 (Tue.), from December 22 (Tue.), 2026 to January 3 (Sun.), 2027, January 12 (Tue.) and March 23 (Tue.), 2027

Hours: 9:30-17:30 (Until 20:00 on Fridays) *Final admission 30 minutes before closing

Venue: Tokyo Metropolitan Art Museum (Tokyo Ueno Park)

Admission: General ¥2,400 / College students ¥1,300 / Seniors 65+ ¥1,600 *Visitors 18 years old or younger and students of high-school grade or lower will be admitted free.*College students and vocational school students will be admitted free weekdays for a limited period from December 8 (Tue.) – 18 (Fri.).

ギュスターヴ・ドレ《自画像》1857年 © Musée d'Orsay, Dist. GrandPalaisRmn / Patrice Schmidt / distributed by AMF　Exhibition curated by the Tokyo Metropolitan Art Museum and the Musée d'Orsay, Paris, and organized in collaboration with Nikkei Inc.

東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM　東京 上野公園

M 40

Musée d'Orsay

NIKKEI For a better world 150th

オルセー美術館所蔵

東京都美術館 開館100周年記念

1926–2026 100th Anniversary

いまを生きる歓び

それでも日々は愛おしい

2026 11.14 sat. – 2027 3.28 sun.

休室日＝月曜日、11/24㊋、12/22㊋～2027.1/3㊐、1/12㊋、3/23㊋
（ただし11/23㊊㊗、1/4㊊、1/11㊊㊗、3/22㊊㊗は開室）
開室時間＝9:30～17:30、金曜日は9:30～20:00（入室は閉室の30分前まで）
お問い合わせ＝050-5541-8600（ハローダイヤル）

Orsay

100th Anniversary of the Tokyo Metropolitan Art Museum What a Wonderful World: Masterworks from the Musée d'Orsay

主催＝東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、オルセー美術館、日本経済新聞社、テレビ東京、BSテレビ東京
協賛＝SMBC日興証券、大林組、第一生命保険、ダイキン工業、DNP大日本印刷、大和ハウス工業、高砂熱学工業、三井住友銀行
後援＝在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ、J-WAVE 81.3FM　協力＝日本航空、日本貨物航空

100th Anniversary of the Tokyo Metropolitan Art Museum What a Wonderful World: Masterworks from the Musée d'Orsay

d'Orsay

prologue ダンス 世界を ことほぐ



エドガー・ドガ《ル・ペルティエ通りのオペラ座の舞古場》1872年
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) / Tony Querrec / distributed by AMF

19世紀、芸術家たちは身近な「いま」を表すことに強い関心を向けるようになります。産業の発展によって中産階級が増え、技術革新により社会が大きく変わった時代でした。新しく生まれた生活や風景は、それまでとは異なる新しい様式で表現されました。作品には、日々の暮らしにささやかな幸せを見つけながら、激動の時代をたくましく生きる人々の姿が映し出されています。

本展では、「印象派の殿堂」とも称されるオルセー美術館のコレクションから、「いまを生きる歓び」をテーマに絵画・彫刻・工芸・写真など約110点をご紹介します。身近な「いま」を見つめた芸術家たちがすくい上げた「生きる歓び」。それらはきっと、社会の在り方が急激に変わる現代のわたしたちにもなお、新たな発見や新鮮な気づきをもたらしてくれるでしょう。

chapter: 1 自然の美を見出す



エミール・ガレ《フラコン形の花瓶》
1890–1900年頃
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) / Adrien Didierjean / distributed by AMF

chapter: 2 よく食べ、よく働き、よく眠る



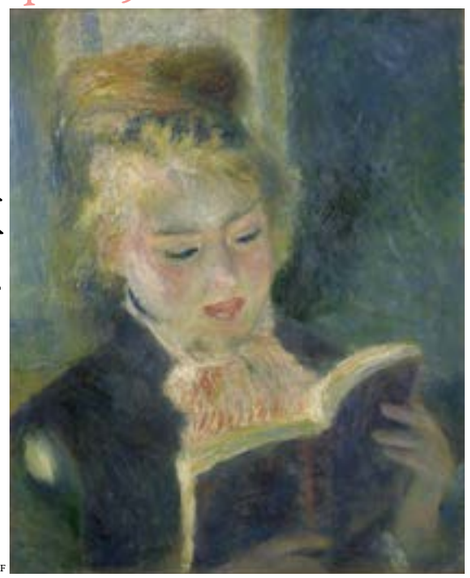
1



2

1. ジャン=フランソワ・ミレー《落穂拾い》1857年
©Musée d'Orsay, Dist. GrandPalaisRmn / Patrice Schmidt / distributed by AMF
2. ギュスターヴ・カイユボット《床削り》1875年
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) / Franck Raux / distributed by AMF

chapter: 3 日々を重ねる



ピエール=オーギュスト・ルノワール《読書する人》
1874–76年の間に制作
© GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) / Adrien Didierjean / distributed by AMF

chapter: 4 老いも若きも、貧富も問わず



3. フィンセント・ファン・ゴッホ《星月夜》1888年
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

chapter: 5 幸せの手ざわり



ピエール・ボナール《食卓》1920年頃
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

ルイ・アンケタン
《アンリ・ゴマリー》1890年頃
© Musée d'Orsay, Dist. GrandPalaisRmn / Patrice Schmidt / distributed by AMF

いまを生きる歓び



3

4. ポール・ゴーガン《アレアレア》1892年
©GrandPalaisRmn (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

epilogue それでも世界は美しい



4

※掲載作品はすべてオルセー美術館蔵

In the 19th century, various artists began taking a keen interest in expressing the "here and now" of daily life. This shift came at a time when the middle class was expanding with the growth of industry, and technological innovations were dramatically reshaping society. The new lifestyles and scenes that emerged were recorded by artists through novel forms of expression, giving rise to works that presented subjects finding small joys in the everyday as they resiliently navigated life in an era of tumultuous change.

This exhibition will present around 110 works from the veritable "temple of Impressionism," the Musée d'Orsay, representing diverse media such as painting, sculpture, decorative arts, and photography, all tied together by the theme of "What a Wonderful World." These snapshots of the joys of life promise to inspire us to make new discoveries and acquire fresh perspectives in the midst of our own era of rapid social change.

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM
〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36
◎JR上野駅「公園改札」より徒歩7分
◎東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分
◎京成電鉄京成上野駅より徒歩10分
※駐車場はありませんので、車での来場はご遠慮ください。
＊7 min walking from JR Ueno Station "Park Gate".
＊10 min walking from Ueno Station "Exit 7", Tokyo Metro Ginza Line, Hibiya Line.
＊10 min walking from Keisei Line Keisei Ueno Station.

